



(ケムスダブルエックスサンジュウニ)

Version 3.1 for Vista / 7 / 10

説明書



wnc develop

## 目次

---

KMSWX32.....	2
はじめに・重要事項・動作環境・特徴.....	2
インストール・アンインストール.....	3
操作方法.....	4
起動直後・ボタンの機能.....	4
キーに割り当てられている機能・この画面固有の情報.....	5
モードの説明・キーに割り当てられている機能(モード選択).....	6
開始・SCORE,GOOD,MISS・スコア表示.....	7
classの意味・key/sの意味・認定書.....	8
練習モード.....	9
設定.....	10
KMSWX32.datの状態.....	11
各スイッチの説明.....	12
REVERSE・CHKMODE・SCS OFF・KEY OFF.....	12
LICENCE・B/S OFF・Typ/sec・LICEN +.....	13
各画面の説明.....	14
内部情報.....	14
追加事項.....	15
おしまいに.....	16
御礼・製作著作・約束・曖昧回避のための項目.....	16
変更履歴.....	17
KMSWX32.exe履歴・KMSWX32説明書履歴.....	17

注)v3.0からv3.1で一部機能変更があります。「追加事項」をご覧ください

説明書に使用している名称は各社の登録商標または商標場合があります

画面は黒を使用していますが、印刷を想定して白に変更している所があります

## はじめに

このたびは、wnc製作のソフトウェアをご使用いただきましてありがとうございます。  
KMSWX32をご使用前にこの説明書を最後までご覧ください。KMSWX32は16bitDOS版からWin  
32(GUI)に移植したものです。KMSWX32は以下のファイルで構成されています。

KMSWX32.exe	プログラム本体
KMSWX32.bin	辞書ファイル
KMSWX32.cfg	実行すると作成する設定ファイル(ini形式)
KMSWX32.dat	実行すると作成
KMSWX32.pdf	ご覧の説明書

KMSWX32.cfgとKMSWX32.datは、存在しなければ実行後新規に作成します。

(上記のファイルはKMSWX32.exeが存在する場所に作成します。ただし、設定で保存場所を指定している場合はそれに従います)

## 重要事項

**このソフトウェアを使用した結果、パソコンやUSBメモリ・ハードディスク類に保存されているdataなどに影響を与え損害を出しても作成者およびこのソフトウェアの配布者(掲載者)は一切責任を負いません、**ということをご理解ください。一般的な使用ならばこのような事態は起こりませんが、できるだけ重要データなどはバックアップをとるか、業務に全く影響を与えないパソコンでの使用をおすすめします。

**警告 過剰な練習は目や手に悪影響を与えます。疲れない程度で使用してください**

## 動作環境

Windows Vista , 7 または 10 が必要で,CPUは80x86完全互換で動作します.

64bit OSでは 32bitアプリケーションとして作動 .

該当機器すべてで動作を保証するものではありません(動作検証2013年) .

製品名および会社名は各社の登録商標または商標です .

## 特徴

限られた時間の中でいかに高得点を取得するか、キーボード入力の手速と正確さが要求されます。v3.1では時間制限なしに入力の練習を行えます。

### インストール方法

ハードディスクかUSBメモリに

KMSWX32.exe

KMSWX32.bin

を同じフォルダに保存すれば完了です。実行するにはエクスプローラから KMSWX32.exe をダブルクリック（またはクリック）すると起動できます。必要であれば、ショートカットを作成したりスタートメニューに登録してください。KMSWX32.exeに必要なDLLなどはOSの基本インストール状態で供給されているものだけを使用しているので特別なDLLやコントロールモジュールは必要ありません。（コンパイラの基本コンポーネントのみで製作）

### アンインストール方法

レジストリなどを操作していないのでアンインストールは下記のファイルを削除するだけで完了です。（ショートカットを作成した場合はそれも削除してください）

KMSWX32.exe

KMSWX32.bin

KMSWX32.cfg      KMSWX32.exe実行後作成します

KMSWX32.dat      KMSWX32.exe実行後作成します

KMSWX32.exeは必要な機能を内部ですべてもっていますので勝手にDLLを作成したりSYSTEMフォルダに移したりしません。また、レジストリやその他の設定ファイルは一切触れていません。KMSWX32.exeが操作するファイルは、

KMSWX32.cfg

KMSWX32.dat

のみ、内容を変更したり追加を行っています。

現時点で、インストーラおよびアンインストーラを作成していません。

## 操作方法

起動直後(画面採取は7で行っています)  
KMSWX32を起動するとタイトル画面になります(画面は説明ボタンを押した後の状態です)

キーボードからスペースキーを押すと画面が切り替わり練習したいモードの選択表示になります(6頁に詳細)。ここでは、画面に配置しているボタンの意味とキーに割り当てられている機能を説明します。



@タイトル画面(簡易説明表示中)

### ボタンの機能

**ESC** キーボードのESCキーと同じ働きをします。KMSWX32を終了したいときにクリックします。

**SPC** キーボードのspaceキーと同じ働きをします。クリックするとモード選択画面に移ります。

**設定** クリックすると起動時の設定を変更することができます。「設定」を参照してください

**情報** 内部に記録している情報を表示します。(「I」キーと同じ)

**説明** 簡易的な説明を表示します。クリックすると図「@タイトル画面」のような状態になり簡易説明が現れます。

**X** KMSWX32を終了します。これをクリックするとESCキーを押した場合と異なり終わるかどうかの確認は聞かずにデータを保存後終了します。

**□** KMSWX32を隠します。再び表示させたいときはタスクバーに表示しているKMSWX32をクリックしてください。(タスクバーは通常画面下にあります)

**□** KMSWX32の画面を最大にします。高解像度ディスプレイを使用されている方で画面が見えにくいという方におすすめです。KMSWX32はリサイズ機能を搭載していますので、画面の大きさにあわせてすべてを拡大します。

(チェックボタンの枠やボタンの中の絵は拡大しません)

**□** KMSWX32の画面を標準のサイズに戻します。拡大した画面を戻したいときにクリックしてください。

#### キーに割り当てられている機能

- R...[REVERSE]キーボードの位置表示を反転表示
- C...[CHKMODE]各モード終了時に間違った文字カウントを表示(練習モード除く)
- S...[SCS OFF]win版では機能しません(dos版ではスクリーンセーバーのスイッチ)
- K...[KEY OFF]キーボードを表示しません(一定時間経過時の得点を表示)
- L...[LICENCE]認定書に挑戦(新規の場合名前を入力する必要があります)
- B...[B/S OFF]入力する文字を大文字小文字区別しません(すべて小文字とする)
- T...[Typ/sec]一秒間に何キーを押しているか表示(リアルタイム)
- +...[LICEN +]MISSにリミッター( 9 missで強制タイムアウトにする)

- I...内部情報を表示します.
- X...著作権表示をします
- V...KMSWX32のバージョン番号と更新日を表示します
- Z...ブランドロゴの表示
- F1...簡易説明(説明ボタンと同じ)
- F2...設定(設定ボタンと同じ)

#### この画面固有の情報

00734 00000 000:00.11s

画面の下の方に表示しているカウンタです。左から本日合計goodキー、今回起動後合計goodキー、今回の起動時間です。本日合計goodキーは日付が変わると0に初期化します。



通常保存できる状態の時には表示しません。表示しているときは認定書の記録や、各モードの得点はファイルに保存しません。

( 詳細の状態を知りたい場合は「設定」ボタンを押すと状態がわかります )

## モードの説明

KMSWX32には8つのモードがあります。

- "ABC"...AからZまでを繰り返し入力します(初級)
- "WNC"...英文もしくは英単語を入力します
- "RND"...ランダムに作られた文字を入力します(上級)
- "ZYX"...ZからAまでを繰り返し入力します(初級?)
- "アイ"...アからソまでを繰り返し入力します(初級)
- "テミ"...カタカナの文章または単語を入力します
- "イライ"...ランダムに作られたカタカナ文字を入力します
- "..."...英数字の基本入力の練習をします

## キーに割り当てられている機能

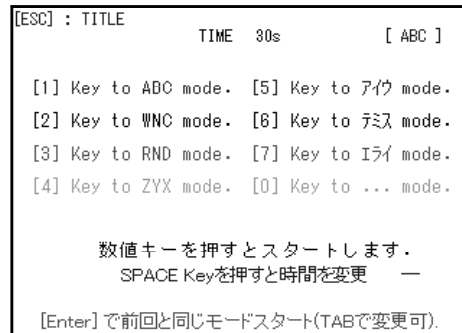
- 1...ABCモードを起動します(直接起動)
- 2...WNCモードを起動します(直接起動)
- 3...RNDモードを起動します(直接起動)
- 4...ZYXモードを起動します(直接起動)
- 5...アイモードを起動します(直接起動)
- 6...テミモードを起動します(直接起動)
- 7...イライモードを起動します(直接起動)
- 0...練習モードを起動します(直接起動)

SPACE...時間を変更します(30秒 60秒 120秒 無限 30秒以下ループ)

TAB...モードを変更します(ABC WNC ~ ~ イライ \*\*\* ABC以下ループ)

ENTER...選択されているモードを起動します(画面上時間の右に選択しているモード名を表示)

ESC...タイトル画面に戻ります



@モード選択画面

無限時間はTIME 000s が該当機能です

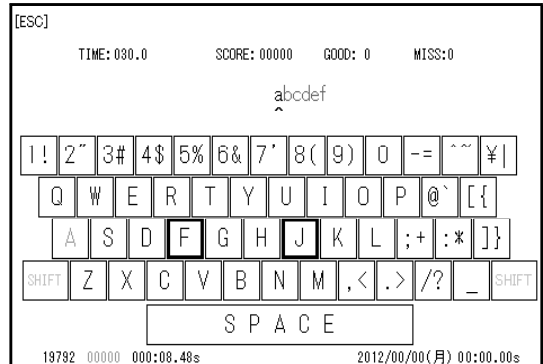
## 操作方法

### 開始

モード選択後、以下のような画面が表示されます。

(スイッチの状態により異なります)

画面中央上部に表示している"abcdef"は、これから入力する文字列です。^の上にある白くなっている文字が今入力しなくてははいけない文字で、その下方にあるキーボードの配置図に押すキーの位置が示されます。この場合は"A"を押さないとはじまりません。画面左上のTIMEが0になると終了です。得点が記録されている点数より高い場合、保存用の名前を入力することができます(無限時間以外)。



### SCORE, GOOD, MISS

画面中央上のSCOREは入力が正しいときに上がり、誤っているときは下がります。その右にあるGOODは正しいキーを入力している数で、MISSは誤った入力をしている数です。SCOREは[GOOD×16 - MISS×16 = SCORE]で計算しています。

実行中にESCキーを押すか、画面の[ESC]をクリックすると終了します

### スコア表示

各モード(練習モード・無限時間以外)が終了すると得点記録表示になります。記録されている得点より多く点数をとると名前登録ができ、得点を保存します。10文字までの半角英数字か5文字までの全角文字を入力してください。名前を入力後、Enterを押すと次の画面になります。

右の画面は、9位の記録になり名前を"nanashi"と入力した場合です。9位のところが緑色の文字になっていますが、これが今入力が終わったところの順位です。緑色の文字になるのは終了時に登録された記録の順位です。(ランク外のときはすべての順位は白色の文字で出力します)

記録されている点数より少ない場合は、今までに記録されている1位から10位までの得点と名前などを表示します。得点を確認したらスペースキーを押してください。次に進みます。



@名前入力画面

KMSWX TOP 10					
ZYX(120s)					
class	rank	NAME	SCORE	GOOD	MISS
F	1	inu	13600	00903	00053
*	2	chokkan	08000	00500	00000
*	3	fuita	07000	00437	00000
B	4	inu	05280	00340	00010
*	5	mike	05000	00312	00000
*	6	hiita	04000	00250	00000
*	7	dada	03000	00187	00000
*	8	net	02000	00125	00000
A	9	nanashi	01040	00072	00007
*	10	hd	01000	00062	00000
		result	01040	00072	00007
		shot	0.658	kev/s	
		PRESS SPACE KEY			

## 操作方法

### classの意味

画面左に表示しているclassはミスの多さによって変化します。

良[S-A-B-C-D-E-F]悪

Sがもっともミスが少なく、Fはミスが多いという意味になります。'\*'はミスが0のときに表示されます。

### key/sの意味

画面右に表示しているkey/sは入力されたキーの数を時間で割った1秒間に押したキーの数を表示しています(30秒モードなら[(GOOD+MISS)/30]ということです)。

無限時間では10秒毎に平均値を求めて画面に出力します

### 認定書

タイトル画面で"LICENCE"のスイッチを入れると認定書に挑戦することができます。各モードの終了時に得点が基準より多く、ミスが少ない場合は認定されます。

(認定書発行は得点記録表示のあとに判定されます)

すでに認定されている級は再び認定することはありません。

KMSWX32の認定書は独自の規定で認定しているので他の検定とは全く異なり、よそで通用することはありません。ですから、KMSWX32で認定されても実務上で役にたつことはありませんので注意が必要です。

+++++	認 定	+++++
第8級 ABC( 30 )		
得点 01808	nanashi	殿
あなたは、キーボード練習[KMSWX] において、上記の位に値することを ここに認定します。		
2012年 00月 00日 wnc develop		

認定級	ABC( 30 )
種別 [30][60][120]	級 SCORE
ADC	1 03900
WNC	2 03600
RND	3 03300
ZYX	4 03000
アイ	5 02700
ミス	6 02400
エイ	7 02100
	8 01800

@認定書発行画面

## 操作方法

### 練習モード

英数字の基本位置を練習するモードで、他のモードと異なり得点や時間制限はありません( )。レッスンは1から14まであります。

lesson14のみ得点があり、100点満点のテストになります

lesson1...fdsa

lesson2...jkl;

lesson3...gh

lesson4...rewq

lesson5...uiop

lesson6...ty

lesson7...vcxz

lesson8...m,./

lesson9...bn

lesson10...4321

lesson11...7890

lesson12...56

lesson13...最終練習

lesson14...テスト



@練習モード画面

各lessonは2部構成で、lesson1-1ならfdsaの基本位置、lesson1-2なら練習となっています。例えば、lesson1-2の練習の時に入力ミスが多いともう一度練習をすることになります。ミスが少なければ次のlessonに移ります。

(lesson13とlesson14は練習のみです)

画面に押すキーを表示しますので押してください。基本位置練習では、押さなくてはいけないキーは反転で、実際に押したキーは通常色で表示します。

途中で練習をやめたいときはESCキーを押すとタイトルに戻ります

TABキーでlessonをスキップできます(lesson13まで可)

## 設定

### 設定

KMSWX32を少しだけ設定変更できます。

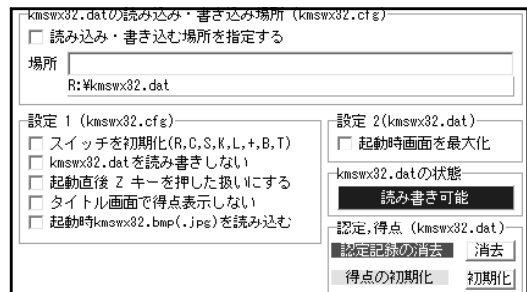
### 各グループの意味

KMSWX32.datの読み込み・書き込み場所の設定（KMSWX32.cfgに状態を保存）

「読み込み・書き込む場所を指定する」にチェックが入っていない場合はKMSWX32.exeの存在する場所にKMSWX32.datを作成します。すでにある場合はそこから読み込みます。チェックが入っている場合は「場所」に書かれているパスにあるKMSWX32.datを読み込み・書き込みします。ない場合は、そこに新規作成します。

「場所」を入力する枠の下側にあるパネルには実際に読み書きをする場所とファイル名を表示します。起動後チェックを変更しても次回起動時に有効になります。

（チェックが入っていない場合はKMSWX32.exeのある場所+KMSWX32.datを表示）



@設定画面

設定 1（KMSWX32.cfgに状態を保存）

「スイッチを初期化」にチェックを入れるとKMSWX32.exe起動時にREVERSEやTyp/secなどのスイッチをすべてoffにします。

「kmswx32.datを読み書きしない」にチェックを入れるとKMSWX32.datを読み込み・書き込みしません。KMSWX32.exe起動後チェックを変更した場合、次回起動時有効になります。（点数はすべてのモードで初期化します）

「起動直後 Z キーを押した扱いにする」にチェックを入れるとKMSWX32起動直後タイトル画面で一度Zキーを押した動作を行います。ブランドロゴの表示待ちをスキップしてタイトル画面にします（後述のkmswx32.bmp(.jpg)読み込みと併用することを想定しています）。

「タイトル画面で得点表示しない」にチェックを入れるとKMSWX32のタイトル画面で一定時間ごとに表示される得点は表示しません。

「起動時kmswx32.bmp(.jpg)を読み込む」にチェックを入れるとKMSWX32起動時にKMSWX32.bmpまたはKMSWX32.jpgを読み込んでブランドロゴを変更します（大きさに制限はありませんが、読み込み確認をお勧めします。また、.bmpと.jpg両方存在した場合.jpg .bmpの順に読み込むため.bmpの画像を表示します）。この機能は独自のブランドロゴまたはタイトル画面の背景を表示させたい場合に使用します。

## 設定

---

設定 2 (KMSWX32.datに状態を保存)

「起動時画面を最大化」にチェックを入れると実行時に画面を最大化します。

認定, 得点 (KMSWX32.datを操作)

「消去」ボタンを押すとLICENCEモードで認定された級と名前を消去します。「初期化」ボタンを押すと記録している得点と名前を初期状態にします。

KMSWX32.datの状態

kmswx32.datの状態

読み書き可能

この場合だと読み書きすることが可能です。

すでにKMSWX32.datが存在している場合です

ここに表示されるいくつかのパネルを説明します。

読み込みのみ可能

KMSWX32.datが読み込み専用属性か、他でKMSWX32.exeが起動している場合に表示します。

読み書き不可

KMSWX32.datが読み書きできない場合に表示します。原因としては、「ネットワークドライブなどで読み書きする権限がない場所に保存しようとしている」か、「読み込み・書き込み場所を指定しているときにパス名が間違っている」、などが考えられます。どちらにも該当しない場合はコンピュータ管理者に相談してください。

読み書き可能(新規)

KMSWX32.datが存在しないので新規に作成した場合に表示します。今まで使用していたのにこれが表示した場合はKMSWX32.datが削除されているか、今回から読み込み・書き込み場所を指定している場合です。

## 各スイッチの説明

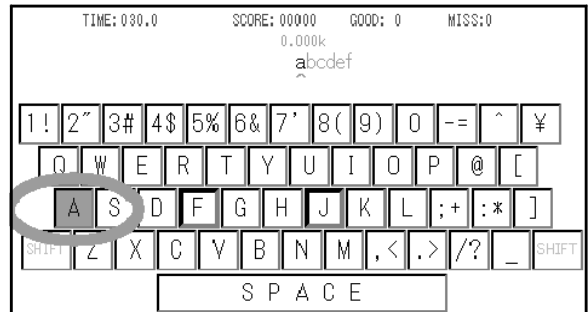
各スイッチはタイトル画面で該当キーを押すと作動します

### REVERSE

R を押し、**REVERSE**にします。もう一度押すと解除になります。

画面に表示するキーボードのキー位置を反転します。

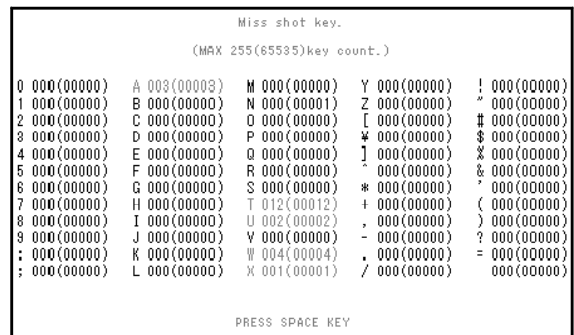
右の画面では"A"が反転表示しています。



### CHKMODE

C を押し、**CHKMODE**にします。もう一度押すと解除になります。

各モード終了時にミスしたキーのカウン  
トを表示します。右画面の場合、赤く表示  
しているのが今回ミスしたキーで、"A"文  
字の場合3ミスしています。カッコ内の5  
桁の数値はミス合計です（KMSWX32起動時0  
に初期化）



### SCS OFF

この機能は作動しません。

DOS版独自機能ですが、スイッチの状態は保持します。

### KEY OFF

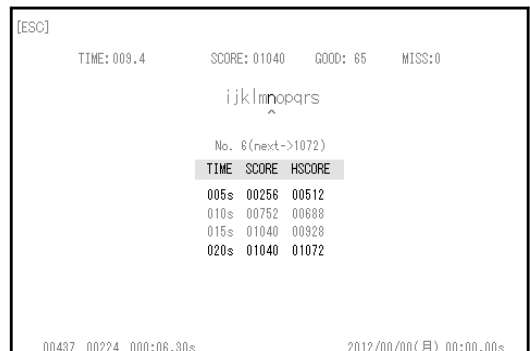
K を押し、**KEY OFF**にします。もう一度押すと解除になります。

キーボードの表示をしません。キーボード  
の表示してあったところには時間経過の得点  
を表示します。

無限時間では30秒毎の本日合計goodキー表  
示とk/sおよびk/mを表示

k/sは1秒間に押しているキー、k/mはk/sに  
60をかけた値で1分間予測です

練習中(基本練習以外)F4キーを押すとその場でON/OFFします

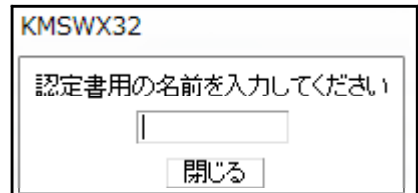


## 各スイッチの説明

### LICENCE

L を押し、**LICENCE**にします。もう一度押すと解除になります。認定書に挑戦します。詳しくは、「認定書」のページをご覧ください。

データが無い場合は名前を入力する必要がありますので10文字までの半角英数字か5文字までの全角漢字を入力してください。



@名前入力画面

### B/S OFF

B を押し、**B/S OFF**にします。もう一度押すと解除になります。

大文字小文字を区別しません。入力した文字はすべて小文字として処理し、入力する文字が大文字でも小文字となります。

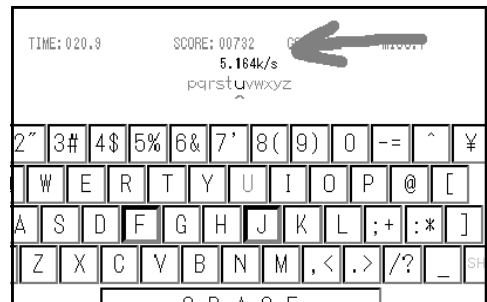
### Typ/sec

T を押し、**Typ/sec**にします。もう一度押すと解除になります。

一秒間に押したキーの数を表示します。各モード実行中にリアルタイムに表示されます。

右の画面では一秒間に"5.164"キー押しています。

練習中(基本練習以外)F3キーを押すとその場でON/OFFします



@Typ/secがON画面

### LICEN +

+ またはシフトキーを押しながら;を押して **LICEN +**か**LICEN +**にします。もう一度押すと解除になります。

ミス入力にリミッターをつけます。9ミスすると強制終了します。この機能は主に認定書モードでミスの上限值を守るために使用します。

(認定書モードでなくても作動します)

無限時間でも9ミスで強制終了しますので無限時間で練習する場合はあらかじめ解除しておくことをお勧めします

## 各画面の説明

### 内部情報

タイトル画面で'i'キーを押すか「情報」ボタンを押すと表示します。

```
---+   KMS data   +---  
(2012/01/01 - 2012/01/02)
```

左側の2012/01/01がKMSWX32.datの作成された日付で、その右にある2012/01/02は今日の日付となります。



```
----- key record.(MAX 32bit) -----
```

GOOD:はKMSWX32.dat開始から今までのGOOD

の合計です。MISS:も同様にMISSの合計で、total:はGOOD+MISS+その他(ESCキーなど)を合計したものです。最大32bit(約42億)カウントします。

@内部情報を表示している状態の画面

```
-----selected mode(MAX 65535) -----
```

各モードの起動回数を時間別・モード別に表示しており、'...'は練習モードの起動回数です。total(MAX 32bit)は全モードの起動回数を合計したもので、最大約42億までカウントします。

無限時間で練習した場合はtotalのみカウントします

```
total time.[00000:00.08s]
```

KMSWX32.datが作成されてからKMSWX32.exeが起動している状態の総合時間です。

最大65535時間59分59秒。

内部情報を表示している状態でキーを押すと次に進みます。また、画面左の方に少しだけ見えている'SPC'ボタンを押しても次の表示に進みます。

## 追加事項

### v3.1機能変更・追加

v3.0に無限時間とタイトルロゴの変更機能を追加しました。また、cfgのフォーマットを変更しましたので各値の説明をします。v3.0までで使用していたcfgはバイナリデータだったので変更するのが困難でしたがv3.1ではcfgの中身はini形式となりテキストエディタで編集できます。これにより、v3.0でcfgを作成していた場合は一度KMSWX32.cfgを削除してください。削除しなくても新方式で書換を行います但しv3.0までの値を反映させることはできません（cfgは[設定]から変更した値により変化します）。

以下は初期状態KMSWX32.cfgの中身(左側)です（新規の場合自動作成）

[KMSWX32]	各値の説明
KMSCFGVERSION=301	KMSWX32が入れるので変更しないでください
KMSDATPATH=	KMSWX32.datを保存する場所(パス名のみ入れてください)
KMSDATPATHON=0	1の時KMSWX32.datの保存場所をKMSDATPATHにする
RESETSW=0	1の時スイッチを初期化[設定1]
KMSDATNOTRW=0	1の時KMSWX32.datの読み書きしない[設定1]
STARTZKEY=0	1の時起動直後 Z キーを押した扱いにする[設定1]
TITSCOREOFF=0	1の時タイトル画面で得点表示しない[設定1]
BMPJPGLOADON=0	1の時起動時kmswx32.bmp(.jpg)を読み込む[設定1]

### v3.1追加キー操作

練習中(基本位置練習除く)F3キーを押すとk/sの表示をON/OFF、F4キーを押すとキーボード表示のON/OFFできます。

### v3.1機能改善

画面のちらつきがあったのを抑制（リサイズ初期設定中にPanelをすべてDoubleBuffered=trueにするよう命令を追加 リサイズ2.0作動時にPanel属性のコンポーネントをすべて拾い出すのでそこに命令を紛れ込ませておいた）

御礼

英文(著作権保護期間終了)

SIR ARTHUR CONAN DOYLE (1859-1930)

THE LOST WORLD (1912)

<http://www.archive.org/details/lostworld00doyluoft>

英文については著作権保護期間終了の書籍を使用しました。

ありがとうございます。

製作著作

Copyright(c)1995-2000,2012,2021 wnc develop

約束

著作権およびその他の権利はwnc developにあります。自由に配布または複写および使用・利用できます。

KMSWX32は無償で提供しています。

KMSWX32は無制限に複製・配布可能です(ご連絡は不要です)。

すべて使用者の責任で使用してください。

曖昧回避のための項目

1:商用利用可(重要事項および約束をご覧ください)

2:商用利用には学校・塾・企業・パソコンスクールでの使用、雑誌・書籍の付録を想定しています(連絡不要)

3:画面のハードコピー・キャプチャも使用可(連絡不要)

4:kmswx32に使用しているカナ文章(単語・駅名除く)は著作権があるので転用不可

5:犯罪になることはダメです

\*この項目は都合により変更する場合があります

バンドル(プリインストール)

ないとは思いますが、kmswx32をインストールして販売や配布しても良い(1,5 厳守)(連絡不要)。

## 変更履歴

---

### KMSWX32.exe履歴

- <1997.06.??> v2.00-00 基本機能(データ保存無) 開発開始は1997年4月頃(注1)
- <1999.10.31> v2.00-07 kmswx32完成(現在の原型)
- <2000.11.09> v2.00-10 Ctrl+TABで動作していたmode選択をTABだけで作動に
- <2012.03.13> KMSWX32MIN(廃止,v3へ引継,注2) v1.00.00 TC++2006Expで再ビルド
- <2012.04.16> v3.00.00 辞書機能を追加してバージョン3系とする
- <2012.04.22> v3.00.01 ログ関連を変更
- <2012.05.19> v3.00.03 表示関連修正
- <2012.05.22> v3.00.04 アルゴリズム調整,表示調整
- <2012.05.26> v3.00.05 DIC最大文字数を255へ拡張
- <2012.06.11> v3.00.06 カナエム1.0搭載
- <2012.06.17> v3.00.07 口入力関連の修正,新規時の偽名と点
- <2012.06.23> v3.00.08 得点と名前の初期化ボタン追加
- <2012.07.01> v3.00.09 偽辞書初期化修正
- <2012.07.05> v3.00.10 カナ入力時カナエム誤動作修正
- <2012.12.17> v3.01.00 無限時間追加・ブランドロゴ変更機能追加、辞書訂正
- <2021.07.15> v3.01.00 表記一部変更

注1)KMSWX32.exeはdos版がすでに2.00に到達していたためそれに準じている

注2)KMSWX32MINは英文とカナ文を省略したバージョン

### KMSWX32説明書履歴

- <2012.07.05> v3.00-00 v3用に作成(v2からデータは引き継いだ)
- <2012.12.18> v3.01-00 v3.1用に作成
- <2021.07.15> v3.01-01 一部変更、削除

2012年7月、12月

2021年7月